

令和5年度第2回沖縄県公立大学法人 沖縄県立看護大学評価委員会 議事概要

1 開催日時等

- (1) 日 時 令和5年8月3日(木) 13:30～15:30
- (2) 場 所 県立看護大学 1階教授会室

2 出席者等

(出席)

- 前津 榮健 委員 (学校法人沖縄国際大学理事長兼学長)
- 浅田 尚紀 委員 (公立大学法人奈良県立大学副理事長兼学長)
- 平良 孝美 委員 (公益社団法人沖縄県看護協会会長)
- 涌波 淳子 委員 (一般社団法人沖縄県医師会理事)
- 屋嘉比 政樹 委員 (日本公認会計士協会沖縄会会員)

以上 委員5名中5名出席

3 会議次第

- 1 開会
- 2 議事
 - ア 委員長選任、委員長代理の指名、会議の公開・非公開について
 - イ 令和4年度公立大学法人沖縄県立看護大学業務実績評価について
- 3 閉会

2 配布資料

- ① 会次第
- ② 座席表
- ③ 沖縄県公立大学法人沖縄県立看護大学評価委員会名簿
- ④ 資料1 公立大学法人沖縄県立看護大学 評価項目一覧表
- ⑤ 資料2 小項目の検証結果、全体評価及び疑問点等（取りまとめ）
- ⑥ 資料3 令和4年度 業務実績報告書（年度評価）
- ⑦ 資料4 令和4年度 S評価及びA評価判断理由
- ⑧ 資料5 評価委員からの要望資料
- ⑨ 資料6 公立大学法人沖縄県立看護大学 令和4年度業務実績評価書（案）
- ⑩ 資料7 公立大学法人沖縄県立看護大学の業務実績の評価に関する実施要領
- ⑪ 参考資料1 令和4年度に策定した「基本的な考え方」及び方針
- ⑫ 参考資料2 令和4年度 財務諸表
- ⑬ 参考資料3 令和4年度 決算報告書
- ⑭ 参考資料4 公立大学法人沖縄県立看護大学 令和4年度業務実績 評価フロー

3 議事要旨

■ 委員長選任

沖縄県公立大学法人評価委員会条例第5条第1項に基づき、委員の互選により前津委員が委員長に選任された。

■ 委員長代理の指名

沖縄県公立大学法人評価委員会条例第5条第2項に基づき、平良委員が委員長代理に指名された。

■ 会議の公開・非公開

委員長は沖縄県公立大学法人沖縄県立看護大学評価委員会運営要綱第4条に基づき、公開することにより公正かつ円滑な審議等が著しく阻害され会議の目的が達成できなくなると認められることから、会議を非公開とした。

■ 会議の方法

沖縄県公立大学法人沖縄県立看護大学評価委員会運営要綱第3条第3項に基づき、委員1名が対面による会議にWeb会議システムを利用して出席した。

【審議事項】 令和4年度公立大学法人沖縄県立看護大学業務実績評価について

- 公立大学法人沖縄県立看護大学 令和4年度業務実績評価について、公立大学法人沖縄県立看護大学から業務実績報告書の概要を説明。事務局から資料1及び資料2について説明。その後、質疑応答を行った。

【質問】

- ①小項目6について、大学院の入試に関して令和4年度限り枠外で特別枠を設けて入試を行ったということか。また、今回新たに入学者を4名増やしているが、教育負担や教育の質は担保されているのか。
- ②小項目6について、大学院の入試で英語試験を課さない選抜方法の検討について、入学後は英語教育はされていると思うが、入試でどういう科目を課すかというのは、受け入れる時の一つの基準であると同時に、受験者側の気持ちの問題もあると考える。難しい問題は必要ないと思うが最低限の英語能力を測る、求めるという観点から英語試験を課しても良いと思うが、どう考えているか。
- ③小項目3について、本来は別科助産専攻の項目だと思われるが、別の内容を記載しているにもかかわらず、A評価になっているのは違和感がある。
- ④架橋離島は、離島の範疇に入るのか。橋が架かっている離島は、交通の便もよくドライブコースや観光地となっているところもある。沖縄の離島の実態からすると少しかけ離れてしまうのではないか。学生が誤った認識をしてしまわないか。
- ⑤小項目5について、入試の配点からは共通テストの成績が合否を左右すると思われ、学業成績としてのGPAとの相関が期待されるが、両者の関連がないことに対するIR分析の解釈を確認したい。

⑥小項目6及び13について、各種の活動を意欲的に行っていることは理解できるが、全体的に評価が主観的で成果を客観的に評価できる資料が示されていない。何をもってS評価、A評価としたのか、S評価とA評価の違いがよく分からない。

例えば、小項目6で特別枠4人を設け、入学者を確保された。これはこれで非常に努力されたと思うが、実績成果でいうとその方々が実際に修了されて、資格を取得する等が実績だと考える。

■ 質疑応答の後、公立大学法人沖縄県立看護大学の関係者は退出し、以下の項目別評価及び全体評価の審議に入った。

1. 項目別評価

- (1) 法人の自己評価と異なる点とその理由
- (2) 優れた点・特色ある点
- (3) 更なる充実が期待される点
- (4) 改善すべき点

2. 全体評価

- (1) 評価できる点（優れた点・特色ある点）
- (2) 課題（更なる充実が期待される点・改善すべき点）
- (3) 法人への要望等

【委員意見】

- ①中期計画と年度計画が適切に対応されていない項目が見受けられる。6年後、中期計画が十分に達成できるようロードマップを前提に意識して年度計画を策定していただきたい。
- ②次年度の評価の際は、令和4年度第1回評価委員会参考資料2の「中期目標、中期計画及び年度計画一覧表」を提出していただきたい。

■ 項目別評価、全体評価の審議について、議論を踏まえた追記、修正後の評価書(案)を各委員宛てメールにて送付し、委員確認後、公立大学法人沖縄県立看護大学の業務実績の評価に関する実施要領の評価の基本方針の(4)に基づき、法人(大学)に評価結果の原案に対する意見を照会した上で、第3回評価委員会を開催することとした。